

令和7年3月3日

各位

「第31回 日本産婦人科乳腺医学会 ランチョンセミナー」のご報告

先日、ホームページにて予告いたしましたランチョンセミナーを開催いたしました。

参加者：446名（梅宮アンナさんの関係者含む）その他、マスコミ関係者7社、TVカメラ7台

【講演内容とその反響】

当日の総合司会は、弊社専務の鈴木が担当、講演については、宮城県立がんセンター乳腺外科診療部長の大貫幸二先生が座長を務め、徳島大学産婦人科名誉教授の苛原稔先生が「産婦人科におけるレディース Dock 構想と乳がん検診」というテーマで講演いただきました。※ 翌日、フジTV めざまし8で放映 (<https://mezamashi.media/article/15640061>) され、TBS (<https://www.facebook.com/share/p/1BuAtCxFsZ/>)、スポニチ (https://news.biglobe.ne.jp/entertainment/0224/spn_250224_1175835216.html) などでネットニュースに取り上げられており、また、主婦の友社や文芸春秋社も掲載予定。



特別企画として「患者さんと考えるこれからの乳腺診療」と題して、乳がん患者でもあり現在も治療に前向きに向き合っておられる梅宮アンナさん (<https://ameblo.jp/umemiyaannna/>) をお迎えして、医療サイド（放射線科・乳腺外科・産婦人科）の見地、立場と、患者として梅宮アンナさんの経験を通じた様々な

疑問点や所感・見解などを台本なしのパネルディスカッションにて討論しました。

その際、梅宮アンナさんが検査から告知、治療方針の説明など、体験談を交えて赤裸々に話されたことが会場を唸らせました。参加した医師の方や学会の理事長、学会大会長、理事の先生方、事務局から「とても良い企画で学会自体も盛り上がった！」と高評価でした。



以上